

本庁地区社会福祉協議会

第19回 ウォーキングフェスタ



関さんの森

新緑の小金宿寺社巡り

本庁地区社協主催の「ウォーキングフェスタ」は数年前から、真夏日を避けるため五月中旬開催から四月開催に変更され、今回は二回目。四月二日(日曜)、朝八時三十分、参加者とスタッフ五十余名は松戸駅東口デッキを出発、約九キロ先のゴールをめざしました。

この日は、このイベントに相応しい好天に恵まれました。今回初めて参加した友達の感想です。「普段あまり歩いていないので不安でしたが、おしゃべりしながらのウォーキングが楽しかったです。なかなか行かない神社、お寺を参拝できてよかったです」。このコースを決めるにあたり、何回も試歩をされ準備されたスタッフの方に感謝です。想像したよりも起伏に富み、新緑の木々や色とりどりの春の花が歩きに癒しをもたらしてくれました。

参加者約50名は先頭と最後尾に差ができて、長い列になってしまいましたが、ス



タッフの皆さんの誘導もあり大過なく歩くことが出来ました。

途中、主催者が準備したパンとお煎餅が配られ、お腹が空いていたので、とてもありがたかったです。スタートからゴールまで自動車(緊急時)が伴走していたので、高齢の参加者も多くいました。が安心できました。

初参加の友達は、完歩達成！有意義な一日になったようでした。次回も体調を整え、一病息災お誘いの声が掛かる事を今から楽しみにしています。

匿名山ガール

お報せ

本庁地区社協事務所(事務局) 移転！

本庁地区社会福祉協議会の事務所が松戸市民会館の2Fに移転します。

永く松戸ビルの4階に事務局がおかれて

事業をすすめてまいりましたが、この

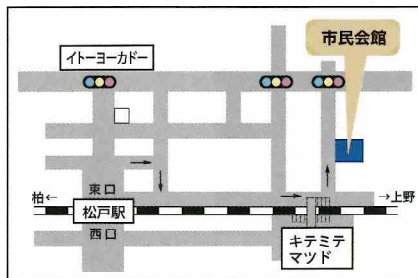
ほど諸事情により、

9月21日(土曜)をもって松戸ビル4

階での事務所を閉じ、新たに9月27日

(金曜)より新事務所を開設、事務を再開いたします。

今後ともご利用、ご協力のほどお願いいたします。



●新事務所開所 9月27日(金) 旧事務所閉所 9月21日(土)

●新事務所/松戸市民会館2階 松戸市松戸1389-1

●電話 047-368-0547(変わらず)

●FAX 047-368-0547(変わらず)

●開所日・時間/毎週火曜~土曜 午前9時30分~午後4時30分

※日・月・祝祭日および市民会館の休館日は休室となります。

《今号の内容》

- ウォーキングフェスタ、事務所移転お報せ.....1
- 地区社協 アクティブレポート.....2
- 委員会、研修部会、子育てサロン、さくらんぼ.....2
- 和が町あら、かると、セラとホテル観覧の夕べ、西公園ビアガーデン.....4
- 和が町見聞録/地域唯一の銭湯「宮前湯」を訪ねて.....5
- 松戸市社会福祉協議会の仕事 その3.....4
- 本庁地区社協事務局だより.....6
- 本庁地区社協事務局だより.....7
- 和が町トピックス/第十七回松戸市議会議員選挙、町会盆踊り大会.....8
- 本庁地区社会福祉協議会評議員会開催 投稿(俳句)短歌.....8

「ちびっ子」の成長の早さにびっくり!

子育てサロン なかよしちびっ子クラブ

つゆの晴れ間六月二七日市民会館の和室で「ちびっ子サロン」の始まりです。ベテランのスタッフが清潔な「おもちゃ」を準備し優しい笑顔でお出迎えしていました。生後1ヶ月〜2歳のちびっ子四人とお母さん四人の参加です。優しく話しかけると可愛い笑顔になりました。その接し方にはびっくり。八ヶ月の赤ちゃんはママが少し離れると泣き出し、抱っこされると満面笑顔をかべていました。一歳のちびっ子は初参加。ちよっとはにかんでいましたが、スタッフの優しい声掛けで最後の片付けまでお手伝いが出来ました。



大きくなったかな? 寄付でいただいた身長計の前で神妙に



ママたちはスタッフに「フェルト」手芸の手ほどきを受け、しばし子育てを忘れささやかなひと時を過ごせたようでした。このサロンがこれからもほのぼのとやさしい気持ちになれる居場所となることを願っています。

石井(文責)/村上(写真)

真夏の「ふれあい会食会」笑いの健康体操ーわらいヨガ



七月三日(水)「ふれあい会食会」が市民会館301号室で開催されました。正午に望月部長、伊能会長のあいさつから始まりました。猛暑の中参加される三七名の方々を迎えるため、早朝から調理、会場設営と協力して下さった二名のボランティアの皆さんとの食事が始まりました。物価高の折、暑さに負けないようにと工夫された

笑いの健康体操ーわらいヨガ

献立の作成にさぞご苦労された事と思います。食後には「ほっこり笑いヨガクラブ」の金森はるみさんによる明るく楽しい指導で、インドの医者様が始めた「笑いの健康体操」が始まりました。「12123(ハハホホ)」と声を出し、手拍子と「鬼のパンツ」「青い山脈」の歌に合わせて、全身の筋肉を動かしながらのパフォーマンス。最後に部長から「八月は夏休みです、また九月四日(水)にお会いしましょう、体に気を付けてお元気で」とのあいさつで散会となりました。今回は合わせて六八食が作られました。また受付、会場設営、後片付けなどボランティアの協力と支えにより開催され、参加者の皆さんも喜んでいました。

石井(文責)/中山(写真)

協 地区社 本庁地 アクテルポ

サロんだんらん

リハビリは楽しく笑顔で物作り

晴天の六月十二日(火)午後、市民会館301号室で、サロんだんらんの催しに十三名が参加されました。今日のテーマは「フェルトバッグ作り 結びだけ」です。受付で、材料が配られて三つのグループに分かれました。平井部会長のあいさつの後、はじめに脳トレ体操ー指示されたところをさわる、指示された以外のところをさわるーがかなりむずかしかったのですが徐々に馴れて準備完了。早速バッグ作りの説明を受けて作業に入ったものの、なかなか思うように進まず、スタッフの皆さんの手助けを受けながら1時間あまり真剣に格闘。ようやく全員が完成し、カラフ



フェルトバッグの完成品



バッグ作りに真険に取り組む

晴天の六月十二日(火)午後、市民会館301号室で、サロんだんらんの催しに十三名が参加されました。今日のテーマは「フェルトバッグ作り 結びだけ」です。受付で、材料が配られて三つのグループに分かれました。平井部会長のあいさつの後、はじめに脳トレ体操ー指示されたところをさわる、指示された以外のところをさわるーがかなりむずかしかったのですが徐々に馴れて準備完了。早速バッグ作りの説明を受けて作業に入ったものの、なかなか思うように進まず、スタッフの皆さんの手助けを受けながら1時間あまり真剣に格闘。ようやく全員が完成し、カラフルで可愛いバッグを手にした様子でした。早く終わった参加者は、残り布を使って色を組み合わせて、小さな花やリボンを作ったりしていました。「昔のことを思い出した」「頭のリハビリにとってもよかった」「こんなに手先を動かしたのは久しぶり」「色がきれいであるという考え、工夫することが楽しかった」「失敗しても楽しくおしゃべりも弾んだ」などと口々に話していました。最後に五・六月に誕生日を迎えた五人の方を祝い、「ハッピーバースデー」を合唱し、お菓子のお土産も配られ笑顔で散会となりました。

中山(文)/小関(写真)

良い睡眠をとって

こころとからだを健康に 研修部会



六月十五日(土)市民劇場で研修部会による健康講座が開催されました。「睡眠から整えるところとからだの健康」についての松戸市健康推進課地域保健班の上田さんによる講義です。睡眠の質を改善する方法について、睡眠のメカニズムを交えたわかりやすい説明を受けることが出来ました。睡眠時間の長短は人それぞれであり、昼間眠気で困ることがなければ、問題はないとのことでした。高齢者の場合の長時間睡眠は、アルツハイマー病発症のリスクを増加させるという報告もあるので、床上時間(眠っていない時間)も

横になっていない時間)が八時間以上にならないことを目安に、必要な睡眠時間を確保するようにとの説明には、驚いた人もいたことと思います。講座に参加された三十五名の皆さんは真剣に講師の話聞いていました。講話の後、参加者の質問が相次ぎ活発な質疑応答になりました。よい睡眠をとることの大切さとその方法を学び、自分の健康は自分で守らなくてはならないことを再認識したのではないのでしょうか。最後に地区社協会長と研修部会長のあいさつで終了となりました。

中山(文)/小関(写真)

宮前湯ルポ

和が町見聞録

私たちの住むこの町には、文化、建物などの遺産・遺跡が遺されています。今号では今では懐かしい『昭和の遺産?』のひとつ、町の銭湯をとりあげます。

かつては松戸駅周辺に数軒あった庶民の癒しと交流の場「銭湯」も、今では本庁地区内宮前町で営業を続けているのは『宮前湯』の一軒だけになってしまい、広報部員が訪問取材しました。



本庁地区 和が町 あ・ら・かると

七夕とホテル鑑賞の夕べ

夏の夜に煌めくホテルの舞に歓声!

松戸駅周辺の町会・自治会の有志の集まり「松戸まちづくり会議」の主管／松戸市主催で七月六日・七日の両日の夕方から夜、本庁地区内坂川河畔の春雨橋親水広場で「七夕とホテル鑑賞の夕べ」が開催されました。昨年に続き開催され、延べ約4千人の市民が優しくも儼然と煌く千匹の(二日間)ヘイケホテルの舞を観賞しました。

会場は春雨橋親水広場では、大テント内に設置された二基のケージに展示されたヘイケホテルに歓声が上がっていました。訪れた多くの子どもたち、家族が二か所に設置された笹竹に思い思いの願い事を書いて笹の葉に結んで華やかな七夕飾りができました。また、日没前には、大道芸が披露され多くの家族連れが喝采を浴びていました。六台のキッチンカーも出店し、市民の憩いの場になっていたようです。



※本庁地区内の町会・自治会(代表者)の会 (真:記)

銭湯を守って八十余年—昭和の暮らしの証に想いを馳せる



市民会館二階受付前や市川歴史博物館に展示されている昭和五年に作成された松戸駅(旧松戸町)周辺の俯瞰図をよく見ると、今でも現存する商店などが数多く描かれています。その中に松戸神社そばの「宮前湯」が描かれています。百年余の歴史に想いを馳せ、訪問すること。

当主の前田勝彦さんのお話によると、昭和十六年にそれまでの経営者から前田さんの祖父が経営を引き継ぎ、現在三代目だそうです。それ以前は宮前湯の歴史(創業年)はよくわからないらしい。



驚く事に宮前湯さんは現在も近くの湧き水を使っています。塩素を使用していない銭湯は千葉県で一軒だけだそうです。お肌にも安心、安全、しかもツルツルになるそうです。松戸にこんな気持ちの良い銭湯があることにとても感激しました。



パズル(千ピース)が脱衣所の壁にきれいに飾られており圧巻です。

「ご夫婦二人で銭湯を守って行く」という意気込みに共感し感動しました。町おこしの一環としても、皆さん!共に銭湯を守りましょう。

奥野&小関:記/小関:写真



連日の記録的猛暑の中、七月二七日・二八日の両日に松戸駅西口公園で「BEER GARDEN in 西口公園」が開催されました。平成二七(二〇一五)年から十年(コロナ禍で二年休止)目になるそうです。コロナ禍で二回休止のあと、令和

駅近の公園 にぎわいの ビアガーデンに!

西口公園ビアガーデン



四年に入場制限をして復活開催されました。プロのバンド「アルプス音楽団」の演奏、大道芸、フラダンス、ベリーダンス、着物パフォーマンスショー、阿波踊りなどのステージアトラクション。生ビール、クラフトビールはじめ、焼鳥、かき氷などの屋台やキッチンカー十二店が出店し、多くの家族連れなど多くの市民が集いにぎわいました。二日間で二八〇〇余の入場者があったそうです。

※主催:松戸市 主管:松戸まちづくり会議・松戸駅周辺商業協同組合 (真:記)

松戸市社会福祉協議会の仕事 その3

松戸市社会福祉協議会は乳幼児から高齢者まで幅広い世代を対象に福祉に関するさまざまな事業を展開しています。「ほんちょう」四二二に続き社協の仕事を紹介します。今回は市社協が行う事業の内、県社協から委託を受けて実施している「日常生活自立支援事業(愛称:すまいる)」について紹介します。

『日常生活自立支援事業』

- 認知症や知的・精神障がい等により判断能力が低下したり、身体的な理由で外出が難しい等の理由で自身での金銭管理が難しくなった方を対象に、契約のうえ金銭管理や郵便物の確認等を行う事業です。
- 福祉サービス利用援助
福祉サービスに関する情報提供や、自宅に届いた郵便物の確認を行います。
- 財産管理サービス
金融機関から生活費を払い戻したり、家賃や公共料金等の支払いを行います。
- 財産保全サービス
通帳や印鑑、年金証書などを預かり、市社協が契約している銀行の貸金庫に保管します。

※本事業の利用にかかる利用料については、市社協にお問い合わせください。

生活支援員も募集しています!

契約者の自宅を訪問し、支援を行う生活支援員も募集しています。支援の頻度は月1回〜2回、1時間程度なので、仕事をしている方でも活動できます。市社協非常勤職員としての活動なので、支援時間に応じて賃金もお支払いします。地域に利用をお支えするためには多くの方のご協力が必要です。「地域で活動したい・役に立ちたい」という方大歓迎です。一緒に活動してみませんか?
お問い合わせ
松戸市社会福祉協議会
生活相談課
電話 047-368-0349

困っている人や、
身体の不自由な
人のために



本庁地区社会福祉協議会 事務局だより

令和6年9月 Vol.96

活動予定 令和6年9月～7年3月

第52回本庁地区市民運動会

- ◆開催日：令和6年11月3日(日)
- ◆時間：午前9時～午後3時頃
- ◆場所：松戸市立南部小学校校庭(少雨決行、雨天中止)
- ◆主催：町会・自治会連合会本庁地区会、本庁地区社会福祉協議会
- ◆協力：本庁地区スポーツ推進委員連絡協議会
- ◆競技：グラウンド・ゴルフ、玉入れ、お玉DEボールリレー、玉投げ、ホールインワンゲーム
- ◆参加について：
 - (1) 参加資格：本庁地区在住の方(小学生以上)
 - (2) 人数：男女関係なく各町会自治会は1～20名。ただし小山町会は50名まで。事務局への直接申込みは先着20名までとします。
 - (3) 申込方法：①各町会自治会を通じてお申込みください。②個人での直接事務局への申込みも可能です。
- ◆申込み期限：令和6年10月16日(水)15時まで
詳細については本庁地区社協までお問い合わせください。

ふれあい広場 第9回本庁地区ふれあい音楽祭

- ◆開催日：令和6年12月14日(土)
 - ◆場所：松戸市民会館ホール 開演12時予定
 - ◆出演予定校(順不同)：松戸第一中、松戸第二中、中部小、南部小、相模台小
- 各学校の迫力ある演奏をどなたでもお聴きいただけます。ご来場をお待ちしています。



ふれあい会食会

- 70歳以上の本庁地区に独り住まいの方を対象としています。
- ◆開催日：令和6年10月2日(水)、11月6日(水)、12月10日(火) 令和7年1月13日(月)、2月5日(水)、3月7日(金)
 - ◆場所：市民会館301会議室
 - ◆参加費：一人300円
詳しくは民生委員にお問合せください。



子育てサロン 「なかよしちびっこクラブ」

子育てサロン「なかよしちびっこクラブ」0歳から入園前の幼児と保護者を対象にした子育てサロンです。



開催日	特別イベント	開催日	特別イベント
令6年9月26日(木)		令7年1月23日(木)	保健師来訪
10月24日(木)	保健師来訪	2月27日(木)	歯科衛生士来訪
11月28日(木)		3月19日(水)	
12月19日(木)	クリスマス会		

- ◆場所：市民会館 和室 203・204
- ◆時間：午前10時～11時30分
- ◆参加費：無料
- ◆右記二次元コードよりLINEで申込みができます



ふれあいいきいきサロン サロン だんらん



本庁地区にお住いの60歳以上の方を対象としたサロンです。先着20名の事前予約制となります。

開催日	申込締切日	開催日	申込締切日
令6年9月17日(火)④	9月14日	令7年2月4日(木)④	2月1日
10月17日(木)②	10月14日	2月18日(木)②	1月15日
11月19日(木)①	11月16日	3月4日(水)④	3月1日
12月11日(水)④	12月8日		

- ◆場所：①市民会館201室 ②市民劇場第3会議室 ③市民会館301室 ④ゆうまつど4階
- ◆時間：午後1時30分～3時30分
- ◆参加費：一人100円
- ◆お申込みは本庁地区社会福祉協議会事務局まで

車いすをお貸ししています

無料で車いすの貸し出しをしています。短期間(1日～2週間)の使用にご活用ください



お知らせ

あなたの撮っておき写真 投稿募集します!

※コンクールではありません。
応募資格/本庁地区社協エリア在住・勤務の方ならどなたでも可。
対象/地区社協の部会活動、地区内及び市内のイベントや風景
※令和5年12月～令和6年11月に撮影された作品に限ります。

- ◆応募要項/
 1. お一人3作品まで応募可能
 2. メールにてデータを添付送信またはCD等でご提出ください。
 3. 作品といっしょに応募用紙またはメールに必要事項を記入・記載しご提出ください。※CD等の返却は致しません。応募用紙は本庁地区社協事務局にございます。

- *必要事項
 1. 氏名(フリガナ)/2. 住所/3. 電話番号
 4. 所属町会・自治会
 5. 作品名(写真タイトル)6. 撮影日7. 撮影場所またはイベント名8. 写真についてのコメントがあれば
- ◆応募締切/令和6年11月15日(金)まで
投稿いただいた作品は本庁地区ふれあい音楽祭にて展示、広報紙「ほんちょう」に掲載する場合があります。

俳句・川柳、エッセイ etc 投稿募集します!

応募資格/本庁地区社協エリア在住・勤務の方ならどなたでも可。
応募要項/ 1. お一人俳句・川柳合わせて二句まで応募可能。エッセイはお一人1点まで。いずれも未発表のものに限ります。2. 応募用紙またはメールに必要事項を記入・記載しご提出ください。応募用紙は本庁地区社協事務局にございます。作品は返却いたしません。
*必要事項 1. 氏名(ペンネーム可) 2. 住所 3. 電話番号 4. 所属町会・自治会

応募締切/令和6年11月15日(金)
投稿いただいた作品は広報紙「ほんちょう」に掲載する場合があります。掲載の作品選定につきましては本庁地区社協広報部会で判断させていただきます。

ご寄付をありがとうございました

(敬称略) 榊井直美(陣ヶ前)、(有)ワイド/堀武敏(古ヶ崎)、小関正利(陣ヶ前)、匿名希望の方、収集ポストにお入れくださった方、事務局までお持ちくださった方、皆さまありがとうございます。

9				8			7				6					月 日 曜	活 動 内 容								
15	12	5	4	17	9	8	25	20	19	19	17	11	9	3	28			27	21	15	15	13	11	8	5
日	木	水	水	土	金	木	木	土	金	金	水	木	火	水	金	木	金	土	土	木	火	土	水		
	「ほんちょう」42号発行	健康増進部会開催	研修部会開催	ふれあい会食会開催	広報部会開催	定例役員会開催	健康増進部会開催	子育てサロン開催	広報部会開催	市民運動会実行委員会	定例役員会開催	研修部会開催	健康増進部会開催	サロンだんらん開催	ふれあい会食会開催	事務局員研修会	子育てサロン開催	定例役員会開催	前期講習会	研修部会開催	健康増進部会開催	サロンだんらん開催	広報部会開催	ふれあい会食会開催	

活動報告 令和6年6月～9月

和が町 トピックス



第17回 松戸宿坂川献灯まつり

「四萬六千日」縁日に

坂川河畔大にぎわい!

八月九日、十日の両日、松龍寺参道を中心に旧松戸宿坂川河畔・春雨橋親水広場エリアで、江戸時代から続く松龍寺「四萬六千日」縁日に合わせ「松戸宿坂川献灯まつり」が開かれ、焼きとうもろこしを買い求める人や灯籠流しをする人、四軒の様々な屋台の出店もあり三万五千人の市民で大にぎわいでした。今では「真夏の夕涼み」のイベントとして旧松戸宿周辺の新しい風物詩として広く市民に親しまれています。

※令和五年度『かわまち大賞』 (国交省) 受賞

「献灯まつり」はじめ、坂川の清流復活などの活動が評価され、国土交通大臣から表彰されました。



春雨橋親水広場はイベントで人の波



それぞれの願い事をこめて灯籠作りに集まった人たち。

会場には、自治会エリアの市民はもちろん周辺の市民も含め、延べ四百人を超える住民が集まり、休憩時には地元の子どもの会や「南中ソーラン」のダンスパフォーマンスが披露され、拍手喝采を浴びていました。

盆踊り大会で大交流 三丁目東、陣ヶ前自治会の取り組み 戸定が丘の駐車場で初めての 開催！ー松戸三丁目東自治会

七月二十日、土曜の夕方、「戸定が丘歴史公園」駐車場の一部を会場に、第十七回「三丁目東自治会 盆踊り大会」を開催しました。従来は町内の大正寺境内、天理教会敷地内をお借りして実施していましたが、今回初めて市の公園緑地課の許可、戸定が丘歴史館の協力により駐車場の一部を使用して開催しました。



櫓は小さいが踊りの輪は二重に(戸定が丘歴史公園駐車場)

七月二十七日、二十八日の両日、陣ヶ前自治会主催で盆踊り大会が開催されました。今回は、旭ヶ丘第一公園での開催(年毎に旭ヶ丘第二公園公園との交互開催)で、櫓を中心に盆踊りの輪が由来しました。会場には、自治会員の皆さんによる「縁日屋台」が出店し、賑わいました。

令和6年度 本庁地区評議員総会開催

本庁地区社会福祉協議会の年次評議員委員会が、五月十一日、松戸市民会館で開催されました。会議は、令和五年度の活動報告と会計収支報告。新年度(令和六)の活動計画と予算案がそれぞれの担当役員により、報告・提案があり、全決議案件は採択されました。伊能地区社協会長からは、特別報告として本庁地区社協の事務所(事務局)が現在地(松戸ビル四階)から松戸市民会館の二階(旧館長室)へ移転することが報告されました。

投稿欄

〈俳句〉
紫陽花や 雨を好みて 色増せり
夏めくや 水欲しがら 植木鉢
水打って 心しづもる タベかな
湯浅 美代子 (陣ヶ前)

〈短歌〉
老いの身の 望郷の念浅からず
甲斐の山並み 櫛形の峰
葱 (陣ヶ前)

◆作者コメント(手紙)を掲載します。
いつもお世話様です。コロナ禍もいよいよ下火と成り、外向きの行事も盛んになってまいりました。後期高齢の我が身とすれば日頃の一寸した不注意にて、思いがけ無い不運に見舞われ歩行も困難儘ならず。旅心有しも実行出来ぬで、嘗ての生国山梨県での思い出等を記したりし乍ら、暇を持て余して居る次第であります。
そこで一首短歌を投稿させて頂きましたので、どうぞ宜しくご吟味下さいませ。尚お願いいたします。
※句読点以外 全文そのまま かしこ

ー 編者 呟口 ー

今年三月発行「ほんちょう41号」の本欄でお正月に発生した能登半島地震にふれたが、被災地の人々の暮らしやインフラ再建が遅れているさなか、今度は宮崎県沖を震源とするM7.1の強く大きな地震が発生した。震源地が「南海トラフ巨大地震」想定震源域内であったため、気象庁は巨大地震注意(M8.5-9級)を初めて発表した。想定域内(九州、四国、近畿、東海)の国民に注意喚起を呼びかけ、お盆での帰省ラッシュを迎えるなか、東海道新幹線も速度を落として運行し一部在来線も運行を休止した。こうした情報が国の機関から発せられたとき、私たち国民はどうすればいいものか途方に暮れるしかない。国は頼りになるのか、いざこさも心もとないのだ。二十、三十歳の津波が襲来するとのシミュレーション画像が流されるのを見せられた対象地域住民の多くは絶望的な不安に襲われるであろう。一に自助、二に共助、最後に公助。これが国の常套句として公言する人たちの「公助」ってなんだろう? 「裏金問題」「不正」も正せない。人々の記憶が遠のくのを待っている国はほんとうに国民の暮らしと生命を守ってくれるのだろうか? あらためて心配になる。元首相の「美しいニッポン」はまやかしか虚ろな夢なのか。

広報部会

- 堀尾 眞誠 石井 榮子
- 中山 廣子 村上 有一
- 小関 昭子

e-mail: honcho@matsumoto-shakyo.com